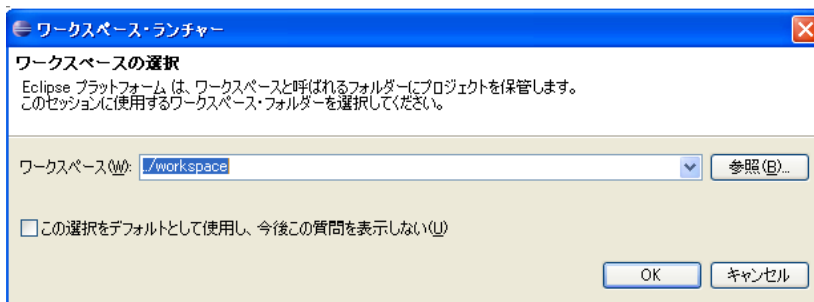


## 1. Eclipse の起動

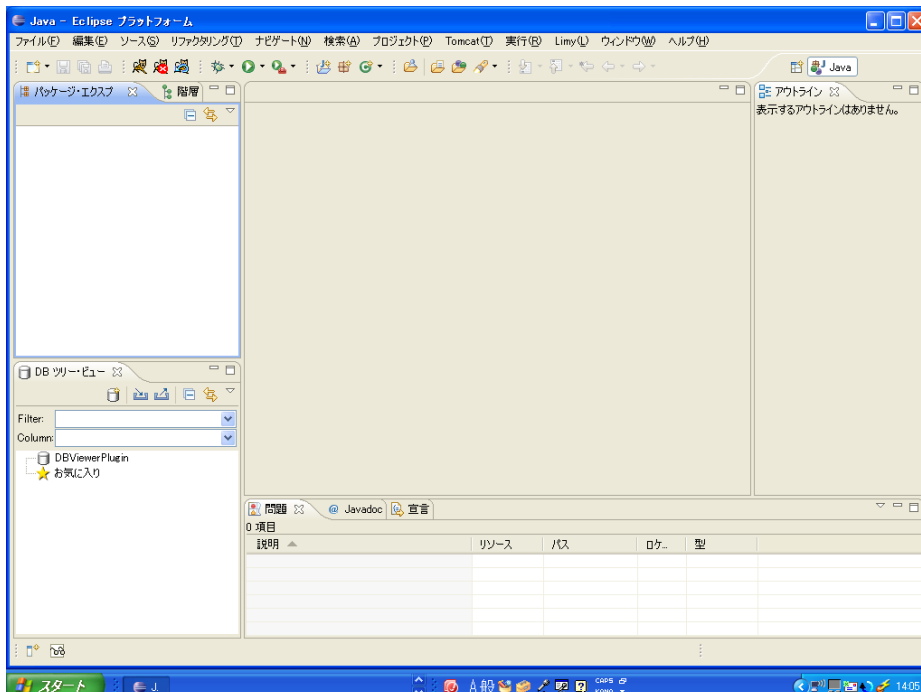
- ・pleiades を展開したディレクトリ中の eclipse のディレクトリにある eclipse.exe を起動
- ・ワークスペース（ソースコードやクラスファイルなどの保管場所）を聞かれるので、そのまま OK.

（学内 PC の設定では、ワークスペースはデフォルトで ”H:\Documents\workspace” に作られます.）

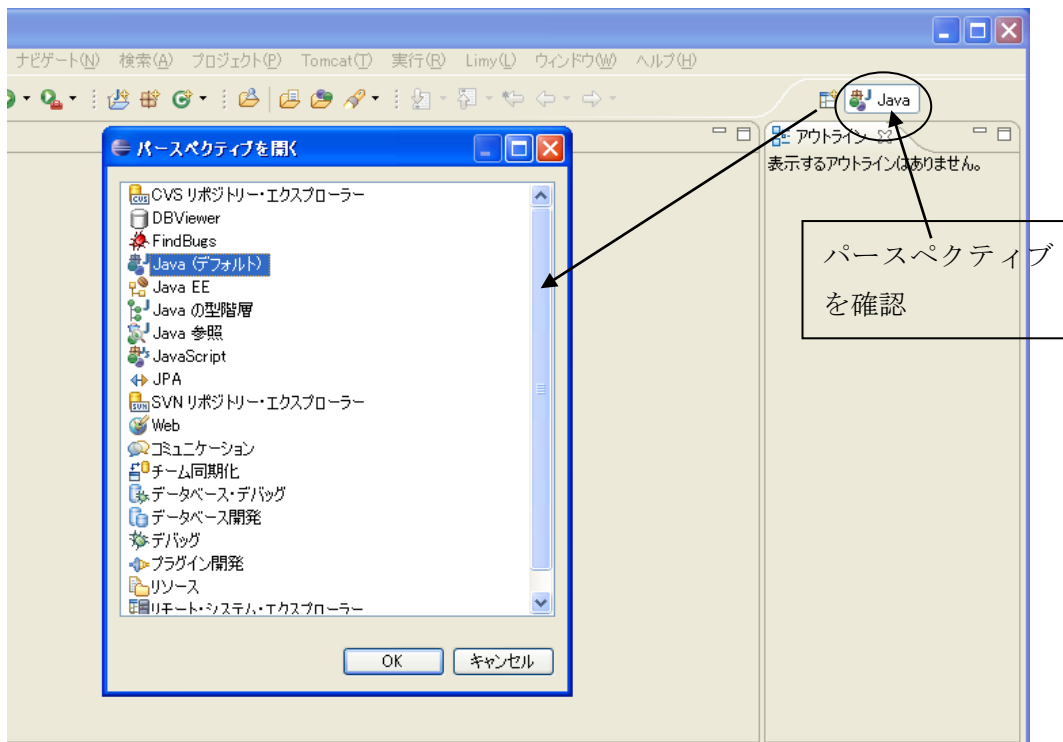


- ・最初に「ようこそ」の画面が表示されるので、「x」をクリックして「ようこそ」画面を消す.

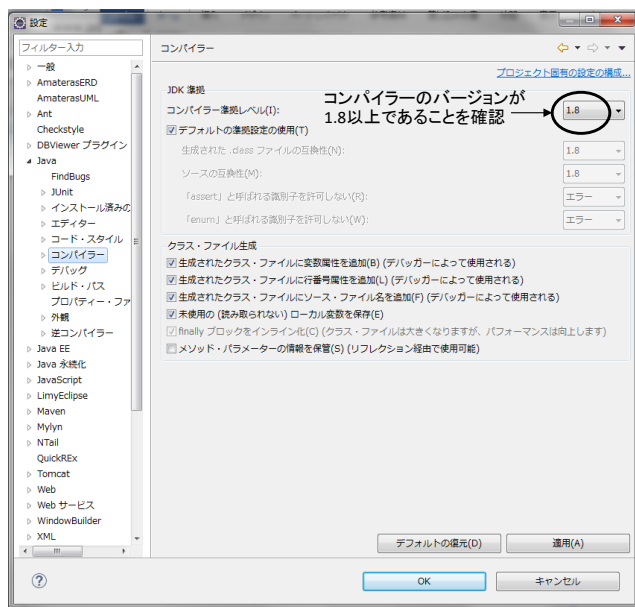
- ・以下のような初期画面が表示される.



- ★もし、パースペクティブが Java になっていなければ、その隣の「パースペクティブを開く」のメニューでパースペクティブの選択肢を表示し、そこから Java を選ぶ（Java EE は選ばないように）.



ウィンドウ→設定のメニューから



\*デフォルトのコンパイラは 1.8 以上になっているはずなので、そのままで OK.

## 2. プログラムの作成

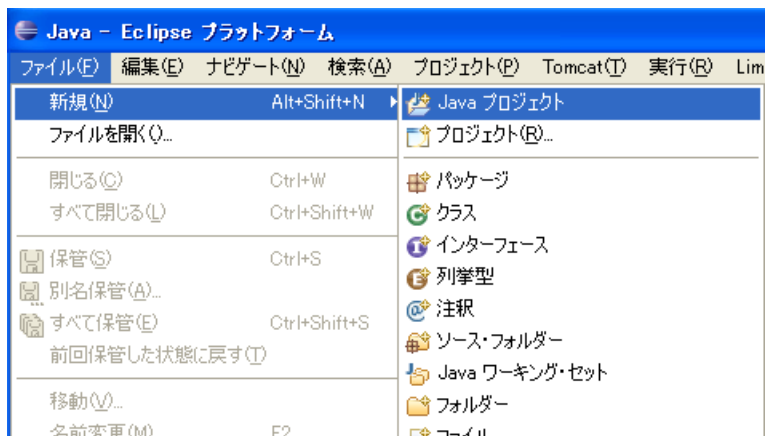
### (1) Java プロジェクトの作成

・Eclipse では、「プロジェクト」を開発の基本単位とし、Java のプログラムは Java プロ

ジェクトとして作成する。

## Java プロジェクト作成手順

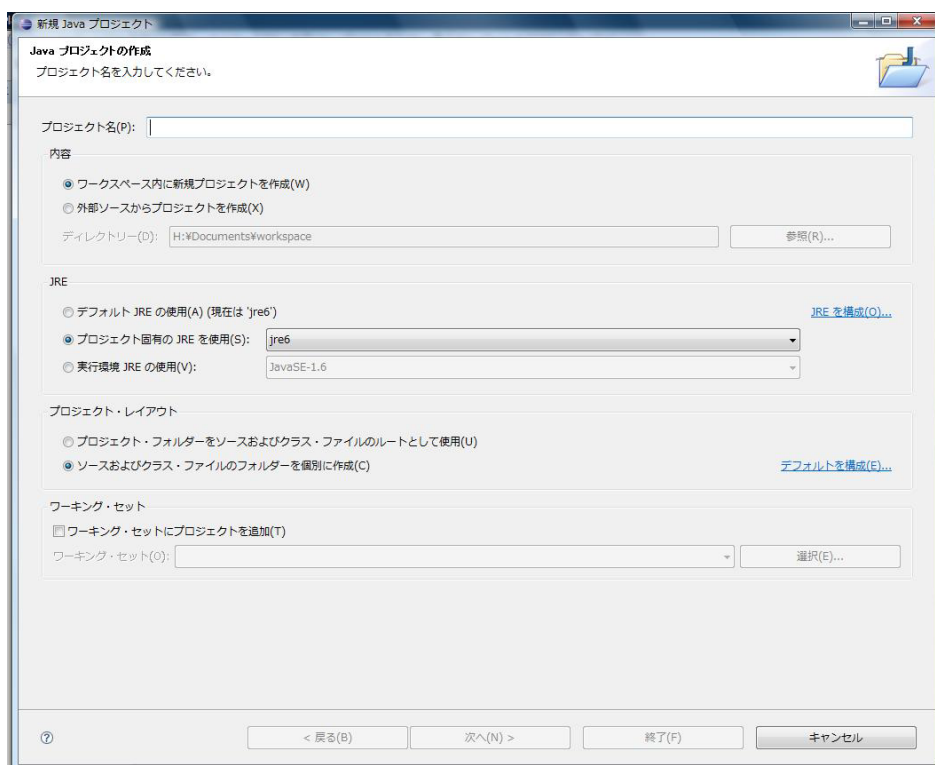
①<ファイル><新規><Java プロジェクト>メニューを選択



②プロジェクトの作成ウィザードが起動されるので、適宜指定を行う。

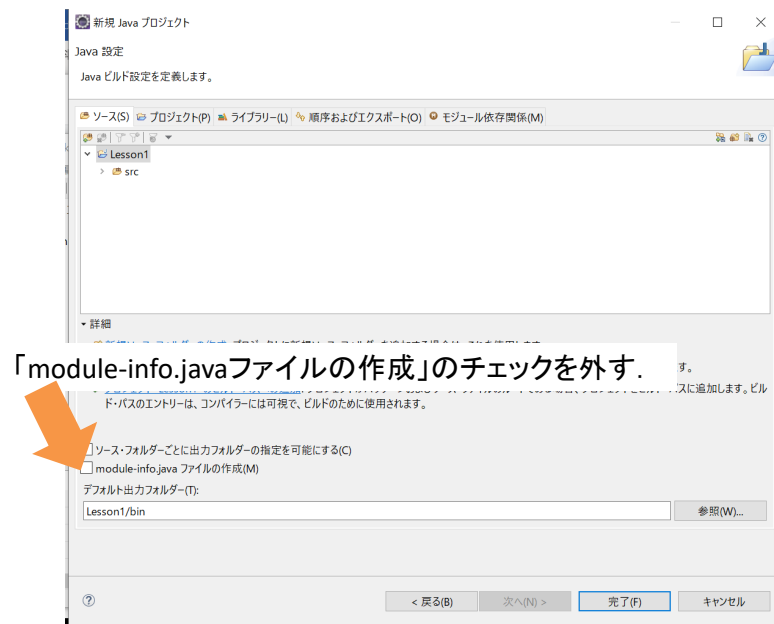
プロジェクト名：適当な名前を入力

☆ここでは、プロジェクト名のみ入力し、他はデフォルトの設定をそのまま使う。

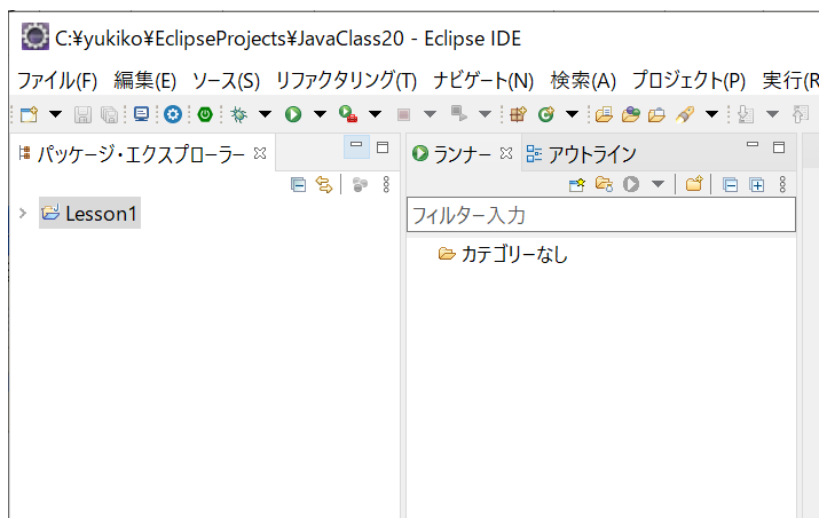


例えば、Lesson1 というプロジェクト名を入力すると、以下のような画面が表示される。

「module-info.java ファイルの作成」のチェックを外し、”完了”ボタンをクリックする。



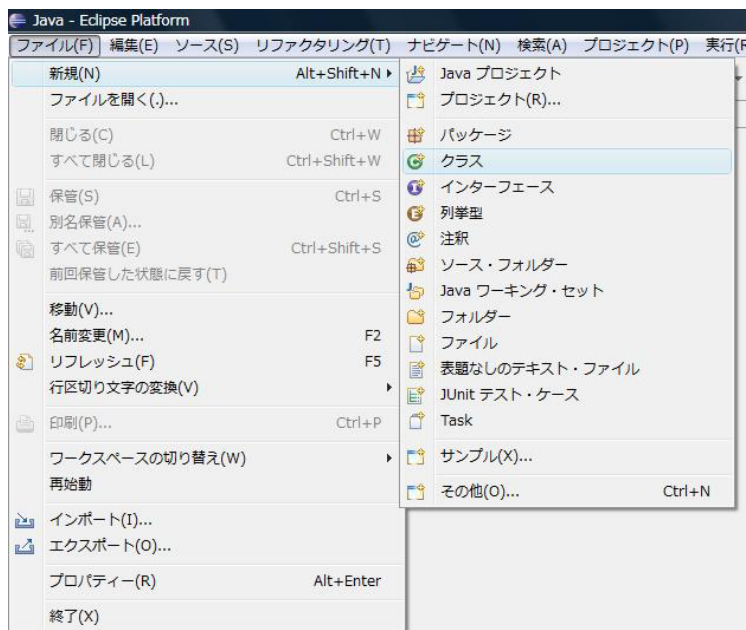
プロジェクトが作成され、左のパッケージエクスプローラーに表示される。



## (2) ソースファイルの作成

ソースファイル作成手順

- ① <ファイル><新規><クラス>メニューを選択

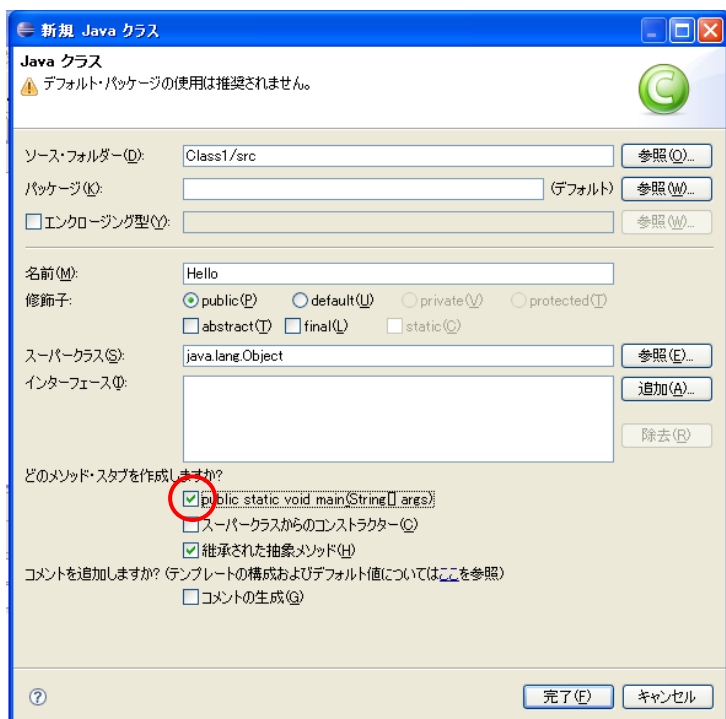


②「新規 Java クラス」ウィザードが現れる。

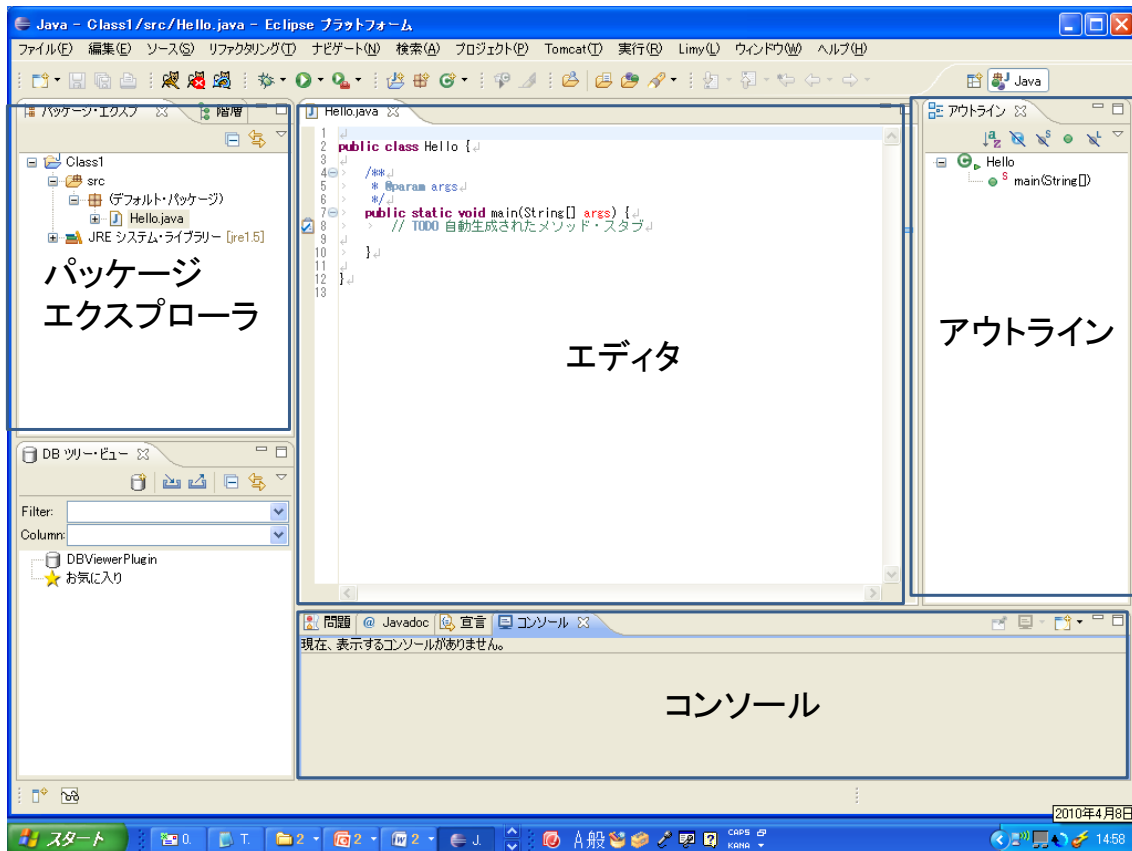
- ・「名前」を入力。例えば Hello と入力。

- ・「作成するメソッド・スタブの選択」で「`public static void main (String[] args)`」にチェックマークを入れておくと、main メソッドを自動的に作成してくれる。

\*「デフォルト・パッケージの使用は推奨されません」との警告が出るが、そのまま進んでよい。



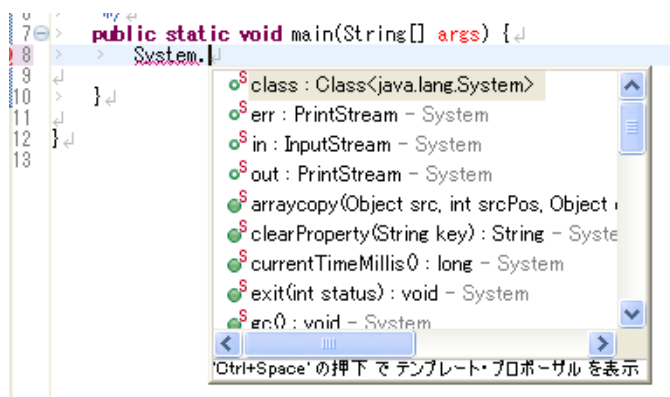
③プログラム(Hello.java)をエディタで編集する。

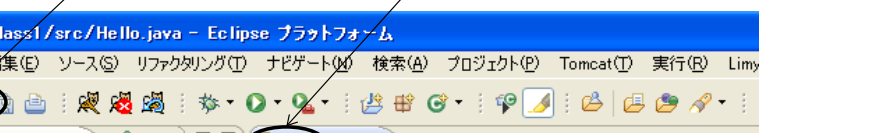


★もしここでコンソールが表示されていなかったら、ウィンドウ>ビューの表示で「コンソール」を加える。

#### ・入力支援機能の利用方法

入力を「.」で停止すると、その後につけられる候補が表示されるので、これらの中からマウスで選択するか、そのままタイプを続ける。この機能により、スペルミスを防ぐことができるので、利用したほうがよい。





保存ボタン

未保存状態

Java - Class1/src/Hello.java - Eclipse プラットフォーム

ファイル(E) 編集(E) ソース(S) リファクタリング(T) ナビゲート(M) 検索(A) プロジェクト(P) Tomcat(T) 実行(R) Limy

パッケージ・エクスプ 階層

Class1

src

(デフォルト・パッケージ)

Hello.java

JRE システム・ライブラリー [jre1.5]

\*Hello.java

```

1  public class Hello {
2
3
4  /**
5   * @param args
6   */
7  public static void main(String[] args) {
8      System.out.println("Hello");
9  }
10
11
12 }
13

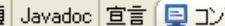
```

## プログラムの実行手順

Eclipse では、ソースコードの保存時に自動的にコンパイルを行うので、ビルドについては考える必要はない。

②<実行><実行><Java アプリケーション>でプログラムを実行

The screenshot shows the Eclipse IDE with the 'Run' button circled in the top toolbar. The 'Run' menu is open, showing options like '実行(B)', 'デバッグ(D)', '履歴の実行(H)', '実行(C)', '実行構成(N)...', '履歴のデバッグ(H)', 'デバッグ(G)', 'デバッグの構成(B)...', 'すべての参照(R)...', and 'すべてのインスタンス(I)...'. The '実行(C)' option is highlighted in blue.



The screenshot shows a Java IDE window with a tab labeled 'コンソール' (Console). The console output displays the text 'Hello' on two separate lines. The first line is preceded by the prompt '<終了>' (End), indicating the program has finished execution. The second line is the output of the 'System.out.println("Hello");' statement.